原子力緊急時対応と放射性廃棄物処理・処分 を支える高度人材育成事業

# oweb質化量 キックオフ シンポジウム

10:00-14:00



# ENEP

**Expert Program for Environmental Management of** Nuclear Emergency and Disposal Radioactive Waste

原子力緊急時の対応・事故後の放射性核種の環境影響評価、そして、これから の最重要課題である地層処分をゴールとする放射性廃棄物の処理・処分事業。 筑波大学大学院では、地球科学・環境科学の分野からこの課題に貢献するべく、 新しい教育プログラムをスタートします。

プログラムの開始に先立ち、5名の演者をお招きして国内外の現状と課題、

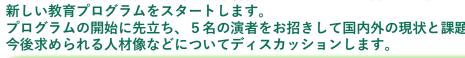
# 要申込み

申込先ORコード

インターネットがあれば どなたでもご覧いただけます。 スマホ・タブレットでもOK!

**English translation is** available by Skype Call

者・パネリスト



10:00-10:05 開会挨拶

10:05-10:15 プログラム紹介

10:15-10:45 地層処分事業の概要と技術開発.......山田基幸 氏

10:45-11:15 JAEAにおける地層処分技術に関する研究開発..........濱 克宏 氏

11:15-11:45 Ongoing challenges: Emergency Management and Management of Radioactive Waste ........Gerhard Proehl 氏

11:45-12:30 昼食

12:30-13:00 Environmental Impact of Nuclear Waste:

Insights from US Nuclear Weapon sites......村上治子氏

13:00-13:30 Radiation Dose Assessment in Nuclear Emergencies

.....Thomas F. Johnson 氏

13:30-14:00 パネルディスカッション



Gerhard Proehl 氏 筑波大学 / 元 IAEA Unit Head.



山田基幸氏 Waste and Environmental Safety Section 原子力発電環境整備機構



濱 克宏 氏 日本原子力研究開発機構



村上治子 氏 ローレンス・バークレー国立研究所



Thomas E. Johnson 氏 コロラド州立大学

筑

### お問い合わせ・お申込み

筑波大学生命環境系

ENEP事務局 担当:向井広樹 E-mail: enep@ied.tsukuba.ac.jp

Tel: 029-853-4012







#### Web配信 ご視聴方法

- ・事前に送付されたWeb配信用URLに アクセスするだけ!
- ・アカウント登録不要です

本事業は、文部科学省「国際原子力人材育成 イニシアティブ事業(原子力人材育成等推進 事業費補助金)」の支援のもと実施しています



### 筑波大学大学院 地球科学学位プログラム

## 原子力緊急時対応と 放射性廃棄物処理・処分を

Expert Program for Environmental Management of Nuclear Emergency and Disposal Radioactive Waste 支える高度人材育成事業

## プログラム の目的

福島原発事故から9年が経過し、原子力政策の最重要課題が事故後の 環境評価から廃炉へ向けた放射性廃棄物の処理・処分へ移りつつあります。 そこで、本学でこれまでの実施してきた「原子力災害による環境・生態系

影響リスクマネジメントプログラム」を発展させ、地層処分をゴールとする放射性廃棄物の処理・ 処分へ向けた地球科学の基礎知識・応用研究を学ぶための特別プログラム「原子力緊急時対応と 放射性廃棄物処理・処分を支える高度人材育成事業」を開始します。

### 国内外の教育ネットワークによる

体系的なカリキュラム

(講義5科目)

エキスパート

原子力災害環境 影響評価論I

原子力災害環境 影響評価論II

環境放射能

動熊解析論

地質災害·地層 環境評価論

原子力災害 特別セミナー

環境動態解析学 国内実習

国内 インターンシップ

環境動態解析学 海外実習

海外 インターンシップ 放射性核種や放射線の基礎から大気、森林、土壌、河川、海 洋などの環境中での動態、モデリング手法について 解説し ます。(4-6月/全10回)

日本原子力研究開発機構の講師により、機構が取り組む福 島復興事業や廃棄物処理・処分事業について解説します。 (7月集中/全10回)

産総研・量研機構・国環研などの講師により、事故後の環境 影響評価や除染対策、環境モニタリングについて解説しま す。(7月集中/全10回)

地層処分の概要と地層処分事業に関わる地球科学の 基礎、 地層、地形、地下水流動等の評価方法について解説します。 (7月集中/全10回)

海外を中心に講師を招へいし、最先端の研究トピックを紹介 します。(不定期/全3回)

福島県内のモニタリング調査地を訪問し、森林・河川・土壌中 の放射性核種のモニタリング手法を学ぶとともに、そのデー タの解析方法を身に付けます。(8-9月集中)

日本原子力研究開発機構、農研機構東北農業研究センター 国立環境研究所、福島県環境創造センター等において、研究 計画を作成し、それに沿った研究を実践します。

海外の原子力災害被災地や放射性廃棄物等の関連施設を訪 問し、講義やフィールド実習を通じて現状と課題について学 習します。(8-9月集中)

海外連携機関において、開催されている講義コースを受講 するか、受け入れ担当者と相談して研究計画を作成し、それ に沿った研究を実践します。

グローバル エキスパーコース (全9科目)

### 2020年海外実習(アメリカ)

サバンナリバー核施設漏洩事故や高レベル 放射性廃棄物処理・処分の研究開発施設で あるサバンナリバー国立研究所、Waste Isolation Pilot Plant等を訪問します



履修科目数に応じ て、旅費支援を 行います!

**◆サバンナリバー** 漏洩事故跡地

### 科目数に応じて、プログラム修了証を授与 筑波大学外の方でもご参加いただけます

※学外の方は、正式な単位としての認定はできませんのでご注意ください

#### 協力・連携機関

【国内】日本原子力研究開発機構、量研機構、原子力規制庁、国立環境研究所、産業技術総合研 究所、農研機構、福島県環境創造センター、富山大学、北海道大学

【海外】IAEA,サバンナリバー国立研究所(米)、サバンナリバー生態研究所(米)、Waste Isolation Pilot Plant(WIPP, 米)、Institut de Radioprotection et de Surete Nucleaire (IRSN, 仏)、ウクライナ水文気象研究所、ウクライナ農業放射能研究所、コロラド州立大学(米)、ウィーン大学(墺)、リバプール大学(英)、プリマス大学(英)、ポーツマス大学 (英)、シェフィールド大学 (英)、Center for Ecology & Hydrology (英)、ノルウェー生命 科学大学環境放射能研究所(CERAD) ほか多数

プログラムの講義動画・資料をオンラインにて公開! ENEP事務局 担当:向井広樹 E-mail: enep@ied.tsukuba.ac.jp

Tel: 029-853-4012

詳しくは、検索・お問い合わせください。 ENEP 筑波大学

